

上したこと等により当期純損失額が拡大する見込みであります。

現在、事業子会社の代表取締役の変更等、業績回復のため、さまざまな取り組みに着手しておりますが、第3四半期以降についても国内外食事業の客数、宅食事業の調理済み商品食数、介護施設の新規入居者数の急激な回復は望めないと判断されることから、通期業績予想につきましても売上高、営業利益、経常利益をそれぞれ下方修正し、当期純損失となる見込みであります。

(注) 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しでありま
す。実際の業績等は、さまざまな重要な要素により、本資料の記述とは異なる結果となる可能性があります。

2. 特別損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、閉店の意思決定を行った店舗及び収益性の低下により固定資産の減損対象となった店舗の固定資産について減損処理を実施し9億円の減損損失を計上し、その他撤退関連費用等を含め合計12.1億円の特別損失の計上を行いました。

3. 中間配当予想の修正について

	年間配当金(円)		
	第2四半期	期末	合計
前回発表予想 (平成26年5月8日発表)	5円00銭	10円00銭	15円00銭
今回修正予想	0円00銭	10円00銭	10円00銭
<ご参考>前期実績 (平成26年3月期)	5円00銭	10円00銭	15円00銭

【修正の理由】

株主の皆様への利益還元を経営の重要課題であると位置づけております。しかしながら、当第2四半期におきましては大幅な四半期純損失となる予想のため、中間配当は、誠に遺憾ながら見送りとさせていただきます。

なお、当期末の配当予想に関して変更はございません。

4. その他

今回の業績予想及び配当予想の修正を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下のとおり取締役および執行役員の報酬減額を実施することとします。

(1) 報酬の減額内容

取締役および執行役員報酬の月額10%の減額

(2) 対象期間

平成26年10月から平成27年3月まで

以 上